

1 令和8年度 教育目標

- (1) 自ら進んで物事を行い、自己の判断に責任をもてる心を育てる。
- (2) 人の立場を理解し、互いに協力し合う思いやりの心を育てる。
- (3) 真実を誠実に求めていく心を育てる。

2 令和8年度 努力点

- (1) テーマ

未来を切り拓くライフスキルの育成

～ 自らを客観的に見る力を通して ～

- (2) 努力目標

現代社会は急速に変化しており、これからの時代を生き抜くためには、単に知識を身に付けるだけでなく、柔軟に対応できる力や自ら行動する力が求められる。本校では、生徒一人ひとりが未来を切り拓くためのライフスキルを身に付けることを目標とする。また、「自らを客観的に見る力を通して」は、ライフスキルを身に付けるための重要な手立てであり、主体的な学びに向かう力を育成し、自己実現の達成に向かうと考える。

- (3) 努力点の推進

○ 未来を切り拓くライフスキルの育成の手立て

- ◎ 生徒が将来の自分の姿を想像する機会を得るために、様々な面からキャリア教育を推し進め、興味がある事柄を深く学ぼうとする生徒の支援をする。

- ・キャリアパスポート（各活動の振り返りなど）から自分の弱みや改善点を見付け、次の目標を設定する。友人や教員の評価を聞くことで、客観的な視点を養う。
- ・授業の中でディベートの機会を設けるなど、他の考えをもつ生徒の意見を聞き、自らの考えが正しいのか振り返ることで、自分の意見が他の人にどう見えるかを考える力を養う。
- ・企業や職場と連携し（職場体験学習やキャリアタイムの活用）、起業家体験プログラムを実施する。実際に働くことを通して、自分の興味や適性を見付けるとともに、社会での役割や責任について学ぶ。
- ・学ぶ方法（教材）の自己選択、学習の進め方の自己決定ができる授業を展開することで、主体的に学ぶ姿勢を養う。
- ・プロジェクト型学習を行い、様々な観点から調査・分析を行い、解決策を提案する力を養う。

○ 未来を切り拓くライフスキルの育成により目指す5つの生徒の姿

- 1 自己理解と自己改善の力をもつ生徒
 - ・自分の強みや弱みに対して、改善するための具体的な行動をとることができる。
 - ・自分の考えや行動を振り返り、より良い選択をするための判断力をもつ。
- 2 他者との協力とコミュニケーションができる生徒
 - ・他者の意見を尊重し、建設的な対話を通じて問題解決に取り組むことができる。
 - ・チームワークを大切にし、協力して目標を達成する力をもつ。
- 3 柔軟な思考と創造力をもつ生徒
 - ・新しいアイデアや視点を取り入れ、柔軟に対応することができる。
 - ・創造的な解決策を見つけるために、既存の枠にとらわれない発想をもつ。
- 4 主体的に学び続ける生徒
 - ・自ら学ぶ意欲をもち、継続的に知識やスキルを向上させることができる。
 - ・自分の目標を設定し、それに向かって計画的に努力する姿勢を保つ。
- 5 社会に貢献する意識をもつ生徒
 - ・自分の行動が社会に与える影響を理解し、責任をもって行動することができる。
 - ・地域や社会の課題に対して積極的に関わり、貢献しようとする意識をもつ。

